

盛岡市議会会派「市政クラブ」令和2年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p>【市長公室関係】</p> <p style="text-align: right;">P 1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 連携中枢拠点都市として広域市町と連携し、産業振興や医療福祉・防災・環境・交通・教育・連携を促進されたい。特に、施設の機能分担や県との二重行政の解を促進されたい。 ・ 自治体運営は財政面や上位官庁の視点による誘導策から決定するのではなく、盛岡市の政策立案力や企画調整力を発揮することで執行されたい。そのための体制を構築していただきたい。 ・ ILC誘致の最終段階となっており関係者と緊密に連携を図り、国に働きかけを強めていただきたい。 	<p>「みちのく盛岡広域連携都市圏ビジョン」に示した「盛岡広域圏の中長期的な将来像」を達成するためには、広域圏全体と構成各市町の特長を生かしながら、経済成長や都市機能の強化、生活関連サービスの向上といったメリットの相互共有を図る必要があると存じておりますことから、各分野にわたる計画事業の着実な実施に向けて、関係市町との連携をより一層深めてまいります。</p> <p>また、県と市の合築推進や二重行政の解消につきましては、他都市での取組状況等を参考にしながら、引き続き、研究してまいります。</p> <p style="text-align: right;">（市長公室企画調整課）</p> <p>地方分権の進展等に伴い、自治体における自律的な経営が求められておりますことから、「人材育成基本方針」に基づき、職員の政策形成能力や職務遂行能力の向上など人材育成を推進するとともに、組織目標の着実な達成を可能とする組織力の向上を中心とした組織マネジメントの推進に努めてきたところです。</p> <p>今後におきましても、職員の能力開発に努め、中核市として、施策を積極的に推進することのできる体制の構築に努めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">（市長公室企画調整課・総務部職員課）</p> <p>ILCの誘致実現に向けては、岩手県や東北ILC推進協議会などと連携し、国や超党派の国会議員で組織される「リニアコライダー国際研究所 建設推進議員連盟」等へ、直接要望活動を行っているところでありますが、令和2年1月に日本学術会議のマスタープラン公表、5月には次期欧州素粒子物理戦略の策定が見込まれますことから、引続き、県などの関係機関と連携を図りながら、誘致実現に向けた働きかけをしてまいりたいと存じます。</p> <p style="text-align: right;">（国際リニアコライダー推進事務局）</p>

盛岡市議会会派「市政クラブ」令和2年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p style="text-align: right;">P 1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 10カ年での都市構想や、2040年代の各地域別の人口予測を作製・公表したうえでの長期的地域計画の策定，単年度決算では見えない中期的な決算の視点で市の施策を計画して頂きたい。 ・ 盛岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略については、P D C Aサイクルに則り、事業目的が達成される手段であるかどうかを再検討した上で実施の継続を行っていただきたい。 ・ 石川啄木や新渡戸稲造など盛岡の先人の偉業を考慮して交流を図っていただきたい。 	<p>総合計画の基本構想の策定に当たっては、2040年までの長期にわたる人口推計を行うとともに、社会の潮流や普遍的な本市の特徴や魅力を踏まえ、10年以上先を見通すなど、長期的視点に立ちながら策定しております。</p> <p>一方で土地政策やインフラ整備など、20年から30年先を目標にしながら取り組む領域もあるものと存じておりますことから、各部門別において策定する個別計画や施策の立案に際しても、総合計画の方向性を踏まえるとともに、必要に応じて長期的な視点を見据えながら取り組んでまいります。</p> <p style="text-align: right;">（市長公室企画調整課）</p> <p>盛岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略については、市の内部組織として設置している盛岡市人口対策本部において、毎年、取組の成果と課題の検証を行っているほか、住民・有識者からなる盛岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議を設置し、重要業績評価指標（KPI）の検証および検証を踏まえた戦略の見直しを行っております。</p> <p>また、自然動態、社会動態とも減少傾向が続いておりますことから、次期総合戦略の策定にあたっては、現在取り組んでいる盛岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略のこれまでの成果と課題を踏まえ、より実効性の高い戦略として参りたいと存じます。</p> <p style="text-align: right;">（市長公室企画調整課）</p> <p>函館市とは、啄木かるた大会において小学生の相互派遣を行っており、平成29年度には両市の教育長が双方の大会を視察するなど、交流を図っておりますので、今後におきましても、多様な交流の促進を図ってまいりたいと存じます。</p> <p>また、平成31年2月に石川啄木の縁で友好都市を提携した東京都文京区には、新渡戸稲造や金田一京助も居を構えたことがあるなど、盛岡の先人との縁がありますことから、文京区と相談しながら、様々な交流について検討してまいりたいと存じております。</p> <p>また、今後、他都市との交流を進める際には、本市が輩出した偉人や業績を介した交流の可能性についても探っていきたく存じております。</p> <p style="text-align: right;">（市長公室企画調整課・教育委員会事務局歴史文化課）</p>

盛岡市議会会派「市政クラブ」令和２年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p style="text-align: right;">P 1</p> <ul style="list-style-type: none"> ICTやAI, IOTの推進を踏まえ総合計画や各種計画に盛り込み早期の導入を図りたい。特に、定型・定量業務における効率化の推進を図りたい。 <p>【建設部関係】</p> <p style="text-align: right;">P 7</p> <ul style="list-style-type: none"> 内丸官庁街の再開発計画を策定して、県をはじめ各施設管理者との話し合いを始めていただきたい。 	<p>ICTやAI, IOTの技術の進展や活用が図られる中、これらの機能を活用した機器等の導入は、行政における市民サービスの向上や職員の業務効率化のほか、市民生活や産業活動などにおける課題解決に大きな効果をもたらすものと存じますので、総合計画の主要事業に位置付け、さらなる国の動向や先進事例の情報収集を行いながら、その推進に努めてまいりたいと存じております。</p> <p style="text-align: right;">(市長公室企画調整課)</p> <p>[各種計画への早期導入及び定型・定量業務における効率化の推進については総務部で回答]</p> <p>内丸官庁街につきましては、都市計画法に基づく「一団地の官公庁施設」を全国に先駆けて定め、市民の利便性、公務の能率及び土地の高度利用が図られ、市及び県における政治経済活動の中心として発展してきたものと存じております。「盛岡広域都市計画区域マスタープラン」や令和２年３月に公表を予定している「盛岡市立地適正化計画」を踏まえ、今後も中心商業・業務拠点を形成する地区としての位置づけが継続されるべきものと存じております。</p> <p>団地内の建物及び土地利用に関しては、今後の経年変化による建替えなどに応じて、各施設管理者と協議調整を図っていく必要性がありますことから、今後も情報収集に努めるとともに、適宜、国・県との協議調整を図ってまいりたいと考えております。</p> <p style="text-align: right;">(市長公室企画調整課、都市整備部都市計画課・市街地整備課)</p>